

最先端のエンジニアと

頑固な職人がガチンコ勝負!?



ITと
呼ばないで

鈴木 凛

得意 分野は
いわゆる
制御系…

我妻クーン

僕は我妻 計
テクニカル
エンジニアで

ちよつと
お願い
あるんだけど…

ん？

あーこりや
やつちやたね

ウオツホン

これこれ

キ

いつも計クンに
頼ってばかりじゃ
困るよー

どっ

すっ
すみませーん！

ほか

ほか

食堂。

まあでも
好きだしね

にしても
お前
すごいよなあ

オレ制御系は
全然ダメ…

ずぶ

おっ
カッコイイ
ねえ

だって、今の世の中
ほとんどの物に
IT技術が
絡んでるだろ

現代の
もの作りに
関わってるんだ

やりがい
あるよ

と

自負
してた

けど

ゴングゴングゴング



ここかあ...



何の用だ?

わあっ



ごめっん
くださーい



はじめまして

担当の我妻と
申します!



何の用？

で

オレが亀次郎だけど…



毎日コンピュータ
カチャカチャやるのが
お仕事の兄ちゃんに
何が分かるよ??

キチ

キマシター

オレはこの道
ウン十年。毎日体を動かしてなんぼサ…



うへー

.....

まいったなあ…

別の目



どうしたんですか？

俺は何もしてねって

亀次郎さんが触ったら止まっちゃったみたいですよ

いつものようにスイッチ入れただけだつてば

大丈夫ですよメンテナンヌ中ですから

あー待って待って

返事しろ！

たたくなー！

今すぐ
確認しますから

こういう時のために
僕たちが
いるんですから…

チェック開始

なんかの
呪文か…?

メインの
フレームから
こつちの
ディレクトリに
つながって…
なるほど
なるほど…

……あ…

この前に新しい
機械とシステムの
入れ替えしました
よね…確か

ああ？

新しい
プログラム
との相性かな

簡単に修正
できますよ

で

再起動…と

click



プログラムの
動く順番を
決めてやれば
いいだけの
ことでした！

起動中

ぱ

やった
動いた！

ブーン



あんた
すげえなあ！

やっぱ紙の
テープに空いた
孔とか見て
中身分かるのか？

やだなー
おじさんって

おいおい



それは昔の
ウルト●マン
とか話でしょ？

今じゃ
ウルト●マンも
「メ●ウス」って
言うんですよ

知らない
だろうな…

まあうちの上司
なんか今でも
穿孔テープ見て
内容が分かる
とか豪語して
ますけど…

おー
俺の機械

なでなで

……じゃあ
今日はこれで
失礼します

俺は古い人間だから
見えるもんしか
信用してなかった
けどよ……

……あのよお

さっきので
ちよっと
気が変わったよ

……はい！

あもと見
るのとえ
ん作るな
だりでい
なつも
て

これがせ
よるしく
頼んだからな



…はい！

そっか

こんにちはー

おー！

暑いところ
ご苦労さん！

今では
良好な関係

よし 休憩にすぎん



僕達は



仕事も
順調だし...



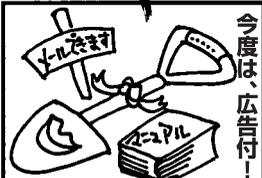
世代を越えた
「仲間」です

★この物語はフィクションです。実在の人物・団体・事件・設定等には、いっさい関係ありません。



しゃんぱん!

第3話



今度、広告付!
色々機能を付けたので、とても高価な品物になってしまいました...



※セリシーな内容はやめたほうがいい...



※仕事中のネット接続は可能...



タイアップ広告

果たして、このアイデアはどうなるのか？
続きは68頁へどうぞ！

●計と亀次郎のアフタートーク

計(以下「計」)「お世話様です。その後、機械の調子はどうですか?」
 亀次郎(以下「亀」)「良いに決まっていますじゃないか! なんたって俺が面倒見てんだから!」
 計「そうすよね。亀さんにかまかせておけばバッチリですよね」
 亀「当たり前エダの...」
 計「...」
 亀「古い。それにしても、この間は世話になったなあ。もの作りには、いろんなものが関わっているのを改めて教わったよ」
 計「...」
 亀「...」



知恵と努力でもの作りは一緒です

「でなかなか分らないのが...」
 「業界の職種ですか?」
 亀「あなたは、何になるんだい?」
 計「僕はプログラマー。」
 亀「なんでえ、その二応ってのは?」
 計「職種を簡単に説明すると、情報化の戦略を策定するのがシステムアナリスト、その戦略に基づいて個別のプロジェクトを統括するのがプロジェクトマネージャー、システム開発の中で求められる特定の専門知識や技能を持つテクニカルエンジニアなど、も分けられるんだ」
 亀「...?」
 計「...?」
 亀「...?」
 計「...?」
 亀「...?」

「の管理部門はそこも一緒ですって。ただ、社内システムがIT化されてますけどね」
 亀「いろんな人がいるんだなあ」
 計「ソフトウェアは人の知恵と努力(そして、根性!)で作られていてるんだ。だからIT企業にとって、人はなにより財産として、人はなにより財産として。いろんな人がチームを組んで知恵や特長を活かした組み立てをしていくので、それぞれの現場での達成感もダイレクトに伝わってくるんです」
 亀「で、戻って、二応ってのは?」
 計「だから、僕はプログラムだけじゃなくて、暇なおじさんの話相手もしてるってこと...」
 亀「なんだと...」